

金沢医科大学氷見市民病院 酒井 一匡 特定行為看護師  
アンケートの質疑応答内容

・特定行為研修を受けている時の研修と仕事の両立の仕方について教えてほしいです。病院に対してどのようにアピールをしたのか。また麻酔科医の理解はどうか。

➡ご質問ありがとうございます。私の場合は、研修がどのように行われるかまず確認しました。動画視聴が基本となりますが、課題も与えられるためどのように進行していけば、無理なくできるか計画を立てました。そのことを家族や職場に伝え、自分が確保したい時間を作れるようにしました。時間を作ることが大切だと思います。具体的に作った時間は、毎日2時間の動画視聴と週末は半日課題の時間として時間を作っていました。

病院から私に行かないかと声をかけて頂いたので、アピールはしていません。麻酔科医の理解はあり、最初から協力的でした。実習でも同意書の取得や症例、講義など協力的に行っていただけでした。感謝しかありません。

・特定行為について、麻酔パッケージで取得されることが多いと思います。特定行為は非常に勉強になりますし、キャリアアップとしてはとても良い機会だと思うのですが、組織の中で実践を行うとなると難しいことが多いです。実際の活動として、病院としての考え方や運用の方向性など聞いてみたいです。

➡ご質問ありがとうございます。「組織の中で実践を行うとなると難しいことが多い。」その通りだと思います。特定行為は、今までなかったことなので軌道にのるまでは、どの施設でも苦勞するところだと思います。

講義でもお伝えしましたが、9行為修了しましたが、実際のところ全て使っているわけではありません。自分のスキルと手術室の状況を考えると、そうなると思います。今は特定行為に自分自身が慣れることと、周囲のスタッフの協力を得ながら実践することが必要な時期と考えています。今は手術室の中だけで行っていますが、今後は病棟や救急室など、活動の場所を広げることができればと考えています。